

OS、ST、CL、OSCL、UC、OSV(水性)
公共建築工事標準仕様 対応

水性 **VATON**^{FX} システム
F☆☆☆☆

水性木部室内塗装



低臭気・環境配慮が求められる現場に

H 110E

私たちは「日本の木の文化」を大切に考えています

人も地球も元気に!



創業1936年 高級木工塗料専門技術メーカー

大谷塗料株式会社

水性VATON^{FX}システム

国産材に適した塗料・塗装システム

杉や檜などの国産材の仕上りや耐候性が向上するように開発した塗料シリーズです。経年による塗膜の変色が少なく、長期的に美観を維持します。

高い安全性

水性自然系着色剤を中心とした、安全性、施工性に優れた低臭塗装システム

「天然の植物油脂」ベースの「水性VATON^{FX}」を主とした塗料・塗装システムです。各規格基準に適合する高い安全性と溶剤系塗料に劣らない塗膜性能を兼ね揃えています。

・「建築基準法」対応

F☆☆☆☆認定

・「室内空気汚染に係るガイドライン 室内濃度指針値対象化学物質」※

該当16物質(既存13+検討中3)を含みません。

※シックハウスに問題に係るホルムアルデヒド・トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物として16物質の室内濃度指針値が定められています。

なお、該当16物質は以下の通りです。

ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・パラジクロロベンゼン・スチレン(モノマー)・クロルピリロス・フタル酸ジ-n-ブチル・テトラデカン・フタル酸ジ-2-エチルヘキシル・ダイアジノン・アセトアルデヒド・フェノールカルブ

(検討中 2-エチル-1-ヘキサノール・テキサノール・2,2,4-トリメチル-1,3-ペンタンジオールジソブチレート(TXIB))

・「学校環境衛生基準」適合※

該当する6物質、及び鉛は含みません。

※教室などの環境に係る揮発性有機化合物6物質として、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・パラジクロロベンゼン・スチレン(モノマー)の室内濃度指針値が定められています。

・「食品衛生法等・食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)」に適合※

乾燥した塗膜は食品衛生法・食品、添加物等の規格に適合します。

小さなお子様がいる環境でも安心して家具、建材にご使用いただけます。

※食品用器具及び容器包装(直接食品と接触する箇所)へのご使用は上記規格基準適合のみでは出来ません。

食品用途(ポジティブリスト制度の対象用途)へのご検討の際は必ず当社までお問い合わせ下さい。

製品によってはポジティブリスト制度に対応していない場合がございます。

求められる性能に応じて様々な塗料の組合せが可能です

種類	商品名	特長	F☆☆☆☆番号	荷姿
着色剤	水性VATON^{FX} (常備色 16色)	水性自然系木部用浸透型着色剤 刷毛の継ぎムラが出にくく、 植物油脂の浸透保護効果による 汚れ防止、手垢止め効果を持つ	001222	14kg 3.5kg 0.8kg
下塗り 中塗り	水性VATON^{FX} サンディングシーラーNY	水性ウレタン塗料(無黄変タイプ) 肉持ちと研磨性に優れたサンディングシーラー	001226	16kg 4kg
上塗り	水性VATON^{FX}トップクリヤー (艶有り/半艶消し/全艶消し)	水性ウレタン塗料(無黄変タイプ) 乾燥性が良く、木地仕上げ、白木仕上げにも最適	001227	16kg 4kg
	水性VATON^{FX}フローアーNY (艶有り/半艶消し/全艶消し)	水性ウレタン塗料(無黄変タイプ) 肉持ち、耐摩耗性に優れ、 1液油変性ウレタンと同等の塗膜物性、 フローアー以外にも内装木部全般に塗装可能	001228	16kg 4kg
	ソード2液トップクリヤー (艶有り/半艶消し/全艶消し/150%艶消し) 配合比 A液:B液=10:1	水性2液ウレタン塗料(無黄変タイプ) 強靱な塗膜、耐摩耗性に優れ、 2液ウレタンと同等の塗膜物性、 飲食店カウンターや住宅床など強さを求める所に最適	001425	16.5kgセット 4.4kgセット
	ソード2液フローアーT (艶有り/半艶消し/全艶消し) 配合比 A液:B液=10:1	水性2液ウレタン塗料(無黄変タイプ) 強靱な塗膜、耐摩耗性に優れ、 2液ウレタンと同等の塗膜物性、 体育館床など広い面積にも塗装し易い	001294	16.5kgセット 4.4kgセット

塗装工程

※本カタログに掲載する塗装仕様はメーカー推奨仕様です。
 公共建築工事標準仕様書に沿った仕様書は弊社HPよりご確認ください。
 QRコードからもご確認ください。



① 水性自然系塗料による着色仕上げ **用途:内装全般** 塗装仕様:OS、ST(水性)

工程	使用塗料	塗装方法	塗付け量(kg/m ²)	乾燥時間(23℃)
1	素地調整	P180~240ペーパー		
2	水性VATON^{FX}	刷毛塗り/ローラー (必要に応じてウエス等で拭き取り)	0.03~0.05	4時間以上
3	水性VATON^{FX}	刷毛塗り/ローラー (必要に応じてウエス等で拭き取り)	0.03~0.05	12時間以上

カラーバリエーション



※この色見本は印刷物のため実物とは多少異なります。

② 水性1液ウレタン標準仕様 **用途:内装木部 建具、幅木など** 塗装仕様:OSCL(水性) ※ OSV、OSCL(水性)にも対応しています。 吸込みの大きい杉や檜などの国産材推奨仕様

工程	使用塗料	塗装方法	塗付け量(kg/m ²)	乾燥時間(23℃)
1	素地調整	P180~240ペーパー		
2	水性VATON^{FX}	刷毛塗り/ローラー (必要に応じてウエス等で拭き取り)	0.03~0.05	12時間以上
3	水性VATON^{FX} サンディングシーラーNY	刷毛塗り/ローラー/スプレー	0.08~0.10	4時間以上
4	研磨	P320~400ペーパー		
5	水性VATON^{FX}トップクリヤー (艶有り/半艶消し/全艶消し)	刷毛塗り/ローラー/スプレー	0.08~0.10	16時間以上



塗装工程

- ③ 水性1液ウレタン標準仕様 用途:内装木部 建具、幅木など
 塗装仕様:CL(水性) ※ UC、UC1(水性)にも対応しています。
 吸込みの大きい杉や檜などの国産材推奨仕様

工程	使用塗料	塗装方法	塗付け量(kg/m ²)	乾燥時間(23℃)
1	素地調整	P180~240ペーパー		
2	水性VATON ^{FX} サンディングシーラーNY または水性VATON ^{FX} トップクリヤー	刷毛塗り/ローラー/スプレー	0.08~0.10	サンディング: 4時間以上 トップクリヤー: 16時間以上
3	研磨	P320~400ペーパー		
4	水性VATON ^{FX} トップクリヤー (艶有り/半艶消し/全艶消し)	刷毛塗り/ローラー/スプレー	0.08~0.10	16時間以上

- ④ 水性1液ウレタン仕様 用途:内装全般 建具、幅木、教室床、住宅床など
 塗装仕様:OSV、OSUC(水性)
 床等の強さを求められる所への仕様

工程	使用塗料	塗装方法	塗付け量(kg/m ²)	乾燥時間(23℃)
1	素地調整	P180~240ペーパー (又はドラムサンダーP40~100及び、ポリッシャーP120メッシュで均一に研磨後、除塵)		
2	水性VATON ^{FX}	刷毛塗り/ローラー (必ずウエス等で拭き取り)	0.03~0.05	24時間以上
3	水性VATON ^{FX} フローアーNY (艶有り)	羊毛モップ塗り/刷毛塗り	0.08~0.10	6時間以上
4	研磨	P320~400ペーパー (又はポリッシャーP120~180メッシュで均一に研磨後、除塵)		
5	水性VATON ^{FX} フローアーNY (艶有り/半艶消し/全艶消し)	羊毛モップ塗り/刷毛塗り	0.08~0.10	1日以上

※注意 水性VATON^{FX}フローアーNYの下塗りに水性VATON^{FX}サンディングシーラーNYは使用しないで下さい。

- ⑤ 水性1液ウレタン仕様 用途:内装全般 建具、幅木、教室床、住宅床など
 塗装仕様:OSV、OSUC(水性)
 床等の強さを求められる所への仕様

工程	使用塗料	塗装方法	塗付け量(kg/m ²)	乾燥時間(23℃)
1	素地調整	P180~240ペーパー (又はドラムサンダーP40~100及び、ポリッシャーP120メッシュで均一に研磨後、除塵)		
2	水性VATON ^{FX} フローアーNY (艶有り)	羊毛モップ塗り/刷毛塗り	0.08~0.10	6時間以上
3	研磨	P320~400ペーパー (又はポリッシャーP120~180メッシュで均一に研磨後、除塵)		
4	水性VATON ^{FX} フローアーNY (艶有り/半艶消し/全艶消し)	羊毛モップ塗り/刷毛塗り	0.08~0.10	1日以上

※注意 水性VATON^{FX}フローアーNYの下塗りに水性VATON^{FX}サンディングシーラーNYは使用しないで下さい。

塗装工程

- ⑥ 水性2液ウレタン標準仕様 **用途:内装標準木部 建具、幅木、カウンターなど**
 塗装仕様:UC、UC2(水性)
 カウンター等の強さを求められる場所への仕様

工程	使用塗料	塗装方法	塗付け量(kg/m ²)	乾燥時間(23℃)
1	素地調整	P180~240ペーパー		
2	着色 (1~2回)	水性VATON ^{FX} 刷毛塗り/ローラー (必要に応じてウエス等で拭き取り)	0.03~0.05	12時間以上
3	下塗り	水性VATON ^{FX} サンディングシーラーNY 刷毛塗り/ローラー/スプレー	0.08~0.10	4時間以上
4	研磨	P320~400ペーパー		
5	上塗り (1~2回)	ソワード2液トップクリヤー (艶有り/半艶消し/全艶消し/150%艶消し) 刷毛塗り/ローラー/スプレー	0.08~0.10	16時間以上

※注意 2液水性塗料調合時は、ミキサー等の機械で攪拌しながら硬化剤を調合して下さい。



- ⑦ 水性2液ウレタン標準仕様 **用途:内装全般 建具、幅木、体育館床、教室床、住宅床など**
 塗装仕様:UC、UC2(水性)
 体育館床、教室床、住宅床等、強さと広い面積への施工性が必要な時の仕様

工程	使用塗料	塗装方法	塗付け量(kg/m ²)	乾燥時間(23℃)
1	素地調整	P180~240ペーパー (又はドラムサンダーP40~100及び、ポリッシャーP120メッシュで均一に研磨後、除塵)		
2	下塗り (2~3回)	ソワード2液フロア-T (艶有り) 羊毛モップ塗り/刷毛塗り	0.08~0.10	16時間以上
3	研磨	P320~400ペーパー (又はポリッシャーP180メッシュで均一に研磨後、除塵)		
4	ライン塗装 (必要に応じて)	エレガントカラー#2000ライン用 または油性用ラインカラー 刷毛塗り	適宜	12時間以上
5	上塗り	ソワード2液フロア-T (艶有り/半艶消し/全艶消し) 羊毛モップ塗り/刷毛塗り	0.08~0.10	1日以上

※注意 2液水性塗料調合時は、ミキサー等の機械で攪拌しながら硬化剤を調合して下さい。

※体育館への塗装につきましては、滑り性能面から艶消しよりも艶有り仕上げを推奨いたします。



注意事項

使用上の注意

- 水性VATON^{FX}システムは木目を活かす仕上がり感を提供する塗料・塗装システムですので、木目を隠蔽する様な塗装には不適です。
- 水性VATON^{FX}の使用に先立っては、着色濃度が変わる恐れがありますので、缶を十分に振り、棒でかき混ぜてから使用して下さい。
- 水性VATON^{FX}は希釈しないで原液のまま使用するように設計されています。
- 水性VATON^{FX}を希釈して使用する場合は、決して水では希釈しないで下さい。水で希釈すると水性VATON^{FX}の性能が著しく損なわれます。必ず水性VATON^{FX}#5001透明で希釈して下さい。
- 水性VATON^{FX}の原料は天然植物油脂を使用している為、ホワイティ及び透明は経日で黄味が目立ちます。使用場所によっては不適切な場合がございますので充分ご注意下さい。
- 水性VATON^{FX}サンディングシーラーNY、水性VATON^{FX}トップクリヤー等を希釈する際は塗料に対して水で0~5%、水性VATON^{FX}フロアーNY、ソワード2液トップクリヤー、ソワード2液フロアーTの希釈は塗料に対して水で0~10%が目安となります。過度の希釈は塗膜の性能が著しく損なわれますので避けて下さい。
- 常時、水掛かりが激しい場所でのご使用は控えて下さい。
- 塗膜の付いている塗装面には水性VATON^{FX}は塗装できません。旧塗膜は必ず研磨などにより取り除いて下さい。

塗装上の注意

- 塗 装 前**
- 本番塗装の前に必ず試し塗りをして下さい。
 - 温度、湿度など気象条件や木材の種類により異なりますが、雨天の日や気温が5℃以下の時は塗装を避けて下さい。
 - 塗装前の木材の含水率は20%以下に調整して下さい。含水率が高くなると水性VATON^{FX}の成分が浸透せず着色濃度が薄かったり、色ムラ・色落ち及び乾燥不良の原因になります。
- 塗 装 時**
- 塗装の際は、必ず換気しながら塗装して下さい。また、塗装後もしばらく換気を続けて下さい。
 - 指定塗付け量を厳守して下さい。指定塗付け量を超えて塗装した場合、硬化が遅れ、ホルムアルデヒドの発生が規定以上になる恐れがあります。
 - 水性VATON^{FX}の塗付け量は拭き取り前に塗る塗付け量の目安です。記載量を塗布して下さい。
 - 2度塗りする場合は、1度目を十分に乾燥させてから2度目を塗装して下さい。
 - 水性VATON^{FX}及び水性VATON^{FX}トップクリヤーなどをローラー塗装の際、含泡が気になる場合はローラーの回転を止めて対応して下さい。
 - 2液水性塗料調合時は、ミキサー等の機械で攪拌しながら硬化剤を調合して下さい。
- 塗 装 後**
- 乾燥時間は目安です。水性VATON^{FX}などの塗料が十分に乾燥している事を確認後、次の工程に移って下さい。水性VATON^{FX}が十分に乾燥しないまま次の工程に移ると、乾燥不良、密着不良、白化などの原因となります。
 - 材の種類、温度、湿度、塗付け量過多によって、水性VATON^{FX}などが24時間でも乾燥しにくい場合があります。その場合はそのまま次の工程に進まないで下さい。十分に乾燥させて次の工程に進んで下さい。水性VATON^{FX}の場合はウエスで軽く拭き取って下さい。又は充分乾燥させて下さい。
 - 塗膜物性は塗膜が十分に乾燥した後に発現します。
- 基 材**
- 節のある材料に塗装する場合、節部分にヤニの付着や過度の水性VATON^{FX}が残りますと、水性VATON^{FX}及びその上に塗装する水性VATON^{FX}トップクリヤーなどの乾燥を阻害し、表面にベタツキが残る恐れがあります。節部分のヤニはラッカーシンナーまたはアルコールなどで表面のヤニを取り除いて下さい。または焼きごてなどを使い処理して下さい。過度の水性VATON^{FX}は拭き取って下さい。
 - 木材の種類によりますが、水性VATON^{FX}塗装時にケバ立ちなどの不都合が生じた場合は、1回目の着色乾燥後ケバ立ち部分にケバ取り研磨を軽く行い、再度、同色の水性VATON^{FX}を塗装されることをお勧めします。
 - 被塗材で漂白処理される場合は十分に薬剤を洗い落として下さい。薬剤が残っていると、乾燥不良、仕上がり不良などの原因になります。
 - 漂白した材などの各種処理材への塗装は乾燥不良、ベタツキ、発色不良などを生じる場合があります。事前に必ず試し塗りして下さい。また、不燃、準不燃材への塗装は塗料のゲル化や薬剤の溶脱(白華現象)が起こる恐れがありますので、避けて下さい。

取り扱い上の注意

- 塗料の付着したウエスや塗料カスは**自然発火の恐れがあります**ので、廃棄するまで必ず水につけて下さい。
- 塗装した刷毛などの洗浄には石鹼水、または食器用洗剤などを使用する事を推奨します。
- 塗料の廃液、洗い液は下水などに流さないで下さい。地方自治体の処分方法に従って処分して下さい。
- その他、容器に記載の注意事項及びSDSをよくお読み下さい。

人も地球も元気に!



Make fine

創業1936年 高級木工塗料専門技術メーカー

大谷塗料株式会社

本社・工場 〒537-0021 大阪市東成区東中本3丁目1番18号
電話06(6976)0251(代)FAX.06(6971)4901

東 京 〒357-0023 埼玉県飯能市岩沢170番地
電話042(974)3191 FAX.042(974)2888

九 州 〒869-0462 熊本県宇土市城塚町82-1
電話0964(22)1903 FAX.0964(22)1799

熊本工場 〒869-0462 熊本県宇土市城塚町
電話0964(22)4745 FAX.0964(22)4746

ISO14001:2009
認 証 工 場

URL <http://www.otanipaint.com/>

代理店